

長崎労災病院 新人教育体制

レベル新人の定義：基本的な看護手順に従い必要に応じて助言を得て看護を実践する/（責任の最も低い、難易度の最も低い）軽微な組織的役割を果たす

成長段階	4月 入職1～3日目	4月 4日目～2週目	4月 3～4週目	5月 1～2週目	5月 3～4週目	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月									
成長段階	看護学生からナースへの移行期 4月前半：居場所がないと思う時期						他者と比べて自信を無くし始める時期			実践力を強化し自信をつける時期			メンバーとしての役割を習得する時期											
特性	看護学生からナースへの移行期 4月前半：居場所がないと思う時期						他者と比べて自信を無くし始める時期			実践力を強化し自信をつける時期			メンバーとしての役割を習得する時期 心に余裕が持てない時期											
新人看護師の目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>職場になれる</li> <li>社会人、看護師としてのマナーを守ることができる</li> <li>職場に慣れる</li> <li>自動業務の流れがわかる</li> <li>急病発生時の施設内の消火設備と避難経路が言える</li> <li>非常災害時の施設内の消火設備と避難経路が言える</li> <li>患者や先輩看護師とのコミュニケーションがとれる</li> <li>ベア看護師とともに受け持ち患者のバイタル測定、観察の実施、入力ができる</li> <li>ベア看護師とともに日常生活の援助が実施できる</li> <li>ベア看護師とともに日常生生活の援助を通して患者とコミュニケーションがとれる</li> <li>患者の療養環境を整えることができる</li> <li>その日の振り返りを自分の言葉で表現し話することができる</li> </ol>						<ol style="list-style-type: none"> <li>週間業務の流れがわかる</li> <li>ベア看護師に報告・連絡・相談ができる</li> <li>ベア看護師とともに日常生活の援助が実施できる</li> <li>ベア看護師とともに行動計画を立てることができる</li> <li>患者や先輩看護師とのコミュニケーションがとれる</li> <li>ベア看護師とともに受け持ち患者のバイタル測定、観察の実施、入力ができる</li> <li>ベア看護師とともに安全に与薬ができる</li> </ol>			<ol style="list-style-type: none"> <li>業務の優先順位を考慮することができる</li> <li>ベア看護師とともに病棟特有の3疾患の看護ができる</li> </ol>			<ol style="list-style-type: none"> <li>リーダー看護師に報告・相談・連絡ができる</li> <li>日常生活の援助を通して患者の反応をとらえることができる</li> <li>休日の流れがわかる</li> <li>支援を受けながら休日勤務ができる</li> <li>急変時指示に沿って行動ができる</li> </ol>			<ol style="list-style-type: none"> <li>ベア看護師とともに予定入院患者を受け入れることができる</li> <li>受け持ち患者の看護実践ができる</li> <li>受け持ち患者の状態を確認して、看護と業務の優先順位を考慮することができる</li> <li>自主的な学習に取り組み態度を養う</li> <li>急変時に指示のもと対応することができる</li> <li>チームの一員として休日勤務ができる</li> </ol>			<ol style="list-style-type: none"> <li>入院の受け入れができる</li> <li>担当した患者の疾患、看護について自主的に学習ができる</li> <li>チームの一員として夜勤勤務ができる</li> <li>チームの支援、協力を得ながら看護実践ができる</li> <li>緊急入院の受け入れができる</li> <li>支援を受けて退院に向け指導ができる</li> <li>1-SBARを用いて施設に報告することができる</li> <li>支援を受けながら夜勤・深夜勤務ができる</li> <li>部署でよくある処置の介助ができる</li> </ol>			<ol style="list-style-type: none"> <li>チームの支援、協力を得ながら看護実践ができる</li> <li>緊急入院の受け入れができる</li> <li>支援を受けて退院に向け指導ができる</li> <li>1-SBARを用いて施設に報告することができる</li> <li>支援を受けながら夜勤・深夜勤務ができる</li> <li>部署でよくある処置の介助ができる</li> </ol>		
教育計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>指導者（看護師1名）と新人看護師（1名）でベアを組む</li> <li>ベア看護師の行う看護から実践を学ぶ ○シャドー（見学）&amp;do（共に実施） ○業務の流れ、電子カルテの操作など ○看護技術の実践</li> <li>始業時にベアでフリーフィングを行う ○作戦会議、活動前の計画、目標設定 ○知識・技術の事前把握</li> <li>終業前にデブリーフィングを行う ○振り返り ＊振り返り時間を考慮して、スケジュールを組み立てる（※夜勤引継ぎ後16:30～ デブリーフィング）</li> <li>受け持ち患者は、以下の看護ケアが予定されている患者を1～3名選定する □ バイタルサインの測定 □ 呼吸・循環の観察 □ 環境整備 □ 保潔（清拭、部分浴） □ 排せつ介助 □ 体位交換 □ 移乗介助 □ シーツ交換 □ 検査・処置・手術</li> <li>実施した看護技術については、看護技術チェックリストで手順の確認、注意するポイントを確認し評価する</li> </ol>						<ol style="list-style-type: none"> <li>指導者（看護師1名）と新人看護師（1名）でベアを組む</li> <li>ベア看護師の行う看護から実践を学ぶ ○シャドー（見学）&amp;do（共に実施） ○術後患者・重症者の看護実践 ○看護技術の実践 ○看護技術の評価 ○看護必要度</li> <li>始業時にベアでフリーフィングを行う ○作戦会議（優先順位を考慮）、活動前の計画、目標設定 ○知識・技術の事前把握</li> <li>終業前にデブリーフィングを行う ○振り返り ＊振り返り時間を考慮して、スケジュールを組み立てる（※夜勤引継ぎ後16:30～ デブリーフィング）</li> <li>手術室、検査室、放射線科の患者を搬送することができる</li> <li>日勤で受け持ち患者は、3疾患患者の以下の看護ケアが予定されている患者を1～3名とリハビリ期の患者を2～3名を選定する</li> <li>休日オリエンテーションを受ける</li> <li>チームの支援を受けながら、休日勤務ができる ○休日の受け持ち患者は、3疾患患者の以下の看護ケアが予定されている患者を1～3名選定する □ 与薬（内服・外用） □ 与薬（点滴） □ 血糖測定 □ 酸素吸入 □ 吸引 □ ネプライザー □ 検査・処置・手術後</li> <li>実施した看護技術については、看護技術チェックリストで手順の確認、注意するポイントを確認し評価する</li> <li>医療看護必要度の動画視聴、テストで100点をとることができる</li> </ol>			<ol style="list-style-type: none"> <li>指導者（看護師1名）と新人看護師（1名）でベアを組む</li> <li>3疾患の予定入院 ○ゴードンの領域別アセスメントを参照し、看護実践を行う ○患者に必要な観察項目、看護指示の入力を行う ○入院時の文書入力ができる</li> <li>自ら受け持ち患者の看護と業務の優先順位を考慮して1日のスケジュールをベアの看護師に伝えることができる</li> <li>急変時に応援が呼ば、指示のもと必要な物品を持ってこることができる</li> <li>アソシエイトと看護技術チェックリストの進行状況を確認を行うことができる</li> <li>休日の受け持ち患者は、3疾患患者の以下の看護ケアが予定されている患者を1～2名とリハビリ期の患者を8～10名を選定する □ 与薬（内服・外用） □ 与薬（点滴） □ 血糖測定 □ 酸素吸入 □ 吸引 □ ネプライザー □ 検査・処置・手術後 □ 食事介助 □ 経管栄養 □ 輸血</li> <li>実施した看護技術については、看護技術チェックリストで手順の確認、注意するポイントを確認し評価する</li> </ol>			<ol style="list-style-type: none"> <li>助言を受けながら1日の割り当てられた看護、業務の優先度を考え実行することができる</li> <li>患者の変化（症状、反応、検査データ）気づき、リーダー看護師に報告、相談、連絡ができる</li> <li>夜勤を行うにあたり、自分の体調管理ができる</li> </ol>			<ol style="list-style-type: none"> <li>支援を受けながらチームメンバーの役割が実行できる</li> <li>緊急入院の受け入れを行う</li> <li>指導者と一緒に新人看護技術チェックリストに沿って到達状況を評価できる</li> <li>目標シートの最終評価、キャリアラダー評価表で評価を行う</li> <li>1月 アソシエイトと一緒にラダー1申請の書類を確認し、提出期限までに申請ができる。</li> </ol>								
知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護師としての責務</li> <li>組織における役割と心構えの理解と適切な行動</li> <li>生涯にわたる主体的な自己学習の継続</li> <li>新人看護職員臨床研修について</li> <li>看護協会</li> <li>看護師の倫理綱領</li> <li>薬剤の基礎知識</li> <li>感染予防</li> <li>情報管理</li> <li>看護記録とは</li> <li>ナースングスキルについて</li> <li>安全確保の技術</li> <li>業務の基準、手順に沿った実施</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>代行入力方法</li> <li>非非常災害時の施設内の消火設備と避難経路</li> <li>ワークシートの帳票出力</li> <li>情報収集の方法</li> <li>指示板</li> <li>患者スケジュール</li> <li>指示簿の確認</li> <li>検査結果の入力方法</li> <li>内服の実施入力方法</li> <li>エアシューター、ガムウェーター使用方法</li> <li>メッセージャーによる搬送</li> <li>安全点検（部署の安全点検項目）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>部署特有の3疾患の看護</li> <li>重症度看護必要度の学研ナースング動画視聴、ナースングスキルでのテストの実施</li> <li>テストで100点になれば、新人看護師で入力してよい。それまでは指導者が確認を行う。</li> <li>休日業務</li> <li>BLS</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>入院受け入れの流れについて</li> <li>入院に必要な文書入力</li> <li>ゴードンの11領域</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>夜勤・深夜勤務</li> <li>感染経路別予防策</li> <li>フィジカルイグザミネーション（循環器、呼吸器）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>1-SBAR</li> </ul>					
技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境整備</li> <li>ベッドメイキング</li> <li>臥床患者のシーツ交換</li> <li>バイタルサイン測定：呼吸/脈拍/心拍/体温/血圧</li> <li>バイタルサイン測定：経皮的動脈血酸素飽和度</li> <li>スタンダードプリコーション（標準予防策）の実施</li> <li>患者誤認防止策</li> <li>誤薬の予防</li> <li>医療廃棄物の取り扱い</li> <li>環境整備</li> <li>ベッドメイキング</li> <li>排泄介助</li> <li>排便介助</li> <li>血糖値測定と換体の取り扱い</li> <li>体位交換</li> <li>全身清拭</li> <li>口腔ケア</li> <li>陰部洗浄、手洗、足浴</li> <li>おむつ交換、整容</li> <li>更衣交換</li> <li>自然排尿・排便援助</li> <li>酸素吸入法（整備カニューレ、酸素マスク、リザーバマスク付き酸素マスク）</li> <li>口腔内・鼻腔内吸引</li> <li>超音波ネプライザー</li> <li>体温調整</li> <li>経口与薬</li> <li>外用薬と薬（軟膏、点眼、点鼻）</li> <li>輸液の管理と実施</li> <li>輸液管理（シリンジポンプ、輸液ポンプ、自然滴下）</li> <li>抗薬薬の用法と副作用の観察</li> <li>バイタルサイン測定</li> <li>身体測定</li> <li>換体の採取方法：尿定性</li> <li>血糖測定</li> <li>造電法、冷電法</li> <li>スタンダードプリコーション</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活支援</li> <li>嚥下訓練：嚥下障害のアセスメント</li> <li>経管栄養</li> <li>排泄介助：ポータブルトイレ</li> <li>膀胱留置カテーテル：女性</li> <li>膀胱留置カテーテル：男性</li> <li>膀胱留置カテーテル：抜去</li> <li>ロケルゼリン流漏</li> <li>排便介助</li> <li>移動 ストレッチャー、車いす、歩行介助</li> <li>院前可動域訓練/廃用症候群の予防</li> <li>入眠・睡眠への援助</li> <li>行動制限（身体抑制・拘束）</li> <li>洗眼</li> <li>入浴・シャワー浴介助</li> <li>酸素吸入療法（気管切開、気流量）</li> <li>褥瘡処置</li> <li>褥瘡のアセスメント・処置</li> <li>包帯法</li> <li>静脈注射</li> <li>輸血の管理と実施、輸血時の副作用</li> <li>インシュリン製剤の種類、用法・副作用の観察</li> <li>麻薬の投与、投与中の観察</li> <li>毒薬・劇薬・麻薬・向精神薬・血液製剤・抗がん剤の管理</li> <li>意識レベルの把握</li> <li>心肺蘇生法</li> <li>動脈血採血</li> <li>換体の採取方法：尿塩</li> <li>心電図モニターの装着と管理</li> <li>安全な体位の保持</li> <li>リラクゼーション</li> <li>精神的安寧を保つための看護ケア</li> <li>滅菌手袋の装着</li> <li>滅菌物の取り扱い</li> <li>針刺し防止策と針刺し発生時の対応</li> <li>医療器材の洗浄・消毒・滅菌</li> <li>誤嚥の予防</li> <li>患者誤認防止</li> <li>転倒・転落の予防</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>入院受け入れの流れについて</li> <li>入院に必要な文書入力</li> <li>ゴードンの11領域</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>夜勤・深夜勤務</li> <li>感染経路別予防策</li> <li>フィジカルイグザミネーション（循環器、呼吸器）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>1-SBAR</li> </ul>								
態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会人としての責任のある行動をとることができる</li> <li>職場の規則を理解し守ることができる</li> <li>体調管理ができ、毎日出勤できる</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>自己学習および自己研鑽の必要性と方法を知ることができる</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら積極的に報告、連絡、相談ができる</li> </ul>														
OJT	部署別スケジュール						5～6月：急変時対応 5月：静脈血採血・静脈内注射 6月：看護必要度			9～11月：看護予防研修（実践）② 11～12月：多量課題②（シミュレーション）②			2月：多量課題③（部署必要時）											
新人看護師研修 Off-JT	新人オリエンテーション						4月：フィジカルアセスメント研修（呼吸器系、循環器系）① 4月：コミュニケーション研修 4月：リフレッシュ研修①			5月：ME機器（輸液ポンプ・シリンジポンプ・心電図モニター・除動） 5月：ピアサポート研修① 社会人としての基礎と接遇			6月：看護予防研修（基礎）① 6月：看護過程研修 6月：リフレッシュ研修②			7月：多量課題①（机上シミュレーション） 7月：フィジカルアセスメント②脳神経系、消化器系 7月：リフレッシュ研修③ 7月：静脈血採血・静脈内注射（技術チェック） 9月：5S 9月：感染経路別予防策			10月：ピアサポート② これまでの振り返りとコミュニケーション 10月：看護倫理 10月：リフレッシュ研修③ 11月：看護補助者に関する研修			3月：ピアサポート③ 2年目に向けてのスキルアップ		
個人目標シート・目標面接							夜勤前チェックリスト			アソシエイト・プリセプター会（毎月）/チェックリスト			10月：中間面接			2月：育成面接								